

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：荒瀬 美和

事業名	空港・港湾等アクセス 一般県道水島港唐船線 <small>みずしまこうとうせん</small>	事業区分	地方道	事業主体	岡山県
起終点	自：岡山県倉敷市玉島勇崎 至：岡山県浅口市金光町大谷 <small>くらしきしたましまゆうざき</small> <small>あさくらしこんこうちようおおたに</small>	延長	1.8 km		
事業概要	一般県道水島港唐船線は、地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部である一般国道2号玉島・笠岡道路に西向きに接続し、国際拠点港湾の水島港と、井笠圏域及び福山地域との物流ネットワークの形成、並びに、一般国道2号唐船交差点を中心とした周辺道路の交通混雑の軽減を図ることを目的として倉敷市玉島勇崎～浅口市金光町大谷までの延長1.8 kmを整備するものである。				
H18年度事業化	H12年度都市計画決定	H一年度用地着手	H一年度工事着手		
全体事業費	44億円	事業進捗率	約7%	供用済延長	— km
計画交通量	11,000台/日				
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 2.0 (残事業) 2.2	総費用： (残事業)/(事業全体) 34/38 億円 事業費：33/37 億円 維持管理費：0.67/0.67億円	総便益： (残事業)/(事業全体) 76/76 億円 (走行時間短縮便益：65/65 億円 走行経費減少便益：10/10 億円 交通事故減少便益：1.3/1.3 億円)	基準年： 令和2年	
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C=1.8～2.3(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.8～2.2(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.9～2.1(事業期間±1年)				
感度分析の結果	(残事業) 交通量：B/C=1.9～2.5(交通量 ±10%) 事業費：B/C=2.0～2.5(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=2.2～2.3(事業期間±1年)				
事業の効果等	①円滑なモビリティの確保 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 【改善見込み（旅行速度：12.8km/h⇒45.0km/h）】 ②物流効率化の支援 ・笠岡港港町地区工業団地から水島港（国際拠点港湾、国際バルク戦略港湾）へのアクセスが向上 【笠岡港港町地区工業団地～水島港：52分⇒33分】 ③国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路「倉敷福山道路」へ水玉JCT（仮称）により接続 ④個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクトを支援する（浅口市工業団地造成整備事業） ⑤災害への備え ・岡山県地域防災計画における第3次緊急輸送道路として位置付けあり。 ・国道429号（第2次緊急）の代替路線を形成。代替区間（倉敷市連島町西之浦～倉敷市玉島阿賀崎） ⑥他のプロジェクトとの関係 ・関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり。 【一般国道2号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）事業】				
関係する地方公共団体等の意見	倉敷市及び浅口市から整備要望を受けている。				
事業評価監視委員会の意見	県の評価は妥当である				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	変化なし				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率0%、事業進捗率約7%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地買収を推進し、早期工事着手を目指す。				

施設の構造や工法の変更等

建設発生土の有効利用や建設副産物の発生抑制等によりコスト縮減に努める。

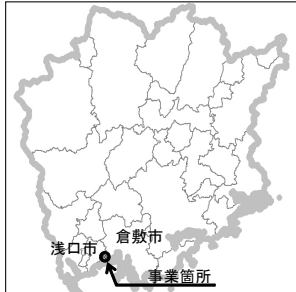
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。